

今日もMeeGoの風が吹く(第1回)

MeeGo×Android

デュアルブート大作戦

注目のプラットフォームMeeGo.今回は, Ubuntu 10.04を使って, Android搭載スマートフォンNexus OneにMeeGoを移植し,マルチブートを実現します.

天野光隆

MeeGoの移植には何が必要?

MeeGoは, スマートフォンに必要な機能, ユーザ・インターフェースがそろったプラットフォームです. しかし, MeeGoを搭載した携帯端末を国内で入手することはまだ難しいでしょう. そこで, MeeGoをスマートフォン上で動かしてみます. 具体的には, Androidとのデュアルブートができるような方法を紹介합니다.

今回は, ARMコア(Qualcomm Snapdragon QSB8250 1GHz)を搭載するHTC社のAndroid端末「Nexus One(写真1)」に移植してみます. 多くのスマートフォンはCPUにARMコアを搭載しており, MeeGoを含むFedoraやUbuntu, Debian GNU/LinuxなどのLinuxディストリビューションを動作させられます. MeeGoもその一つです.

移植に必要なものはNexus One本体とLinuxがインストール可能なパソコン(PC), USB→microUSBケーブル, microSDカード, それとやる気です. 移植は図1(MeeGo



写真1 Android端末のNexus One



図1 移植に必要な手順

移植の流れ)に沿って進めます. PC側はUbuntu 10.04を使うことを想定しています.

MeeGoルートファイル・システムの構築

最初にMeeGoのルートファイル・システムを構築します. ルートファイル・システムのイメージを作成するにはImage CreatorというMeeGoプロジェクトから提供されているCLI(Command Line Interface)ベースのツールを使います. まずはPCの/etc/apt/sources.listに以下のImage CreatorがあるリポジトリURLを追加します.

```
$ sudo vi /etc/apt/sources.list
deb http://repo.meego.com/tools/repos/
ubuntu/10.04/ /
```

続いてImage Creatorをインストールします. これはmic2というパッケージ名で提供されています.

```
$ sudo apt-get update
$ sudo apt-get install mic2
```

次にgitをインストールし, meego-portingというリポジトリからNexus Oneを動かすのに必要なツールを入手します. gitとは, ソースコードなどの分散型バージョン管理システムの一つで, LinuxカーネルやX.Org, Androidなど多くのプロジェクトで使われています.

```
$ sudo apt-get install git
$ git clone git://gitorious.org/meego-porting/nexusone.git
```

続いてkickstartファイルを使ってルートファイル・システムのイメージを作成します. kickstartファイルはFedoraなどで使われているインストーラ「Anaconda」の自動インストールを行うために作られたもので, パーティション構成や, RPM(パッケージ管理マネージャ)の入手先, インス